

デザイン教育に活かすデザイン および造形の実践的研究

芸術学部
生活環境デザイン学科
教授
栗田 融



研究シーズの紹介

本研究は、具体的にデザインを行うことや造形作品を制作し
展覧会へ出品することを実践して得た知見を造形デザイン
教育（主に空間演出デザイン）に活かすことを目的にしている。
デザインは社会との関係が不可欠であることから、実践的な
活動を通じて直面する課題はリアルであり、その解決を図る経
験は、デザイン教育にとって有効である。また、造形デザインを

学ぼううえで必要となる基礎造形の教育においては、教育者自
身が造形経験を積むことによって、よりの確かなアドバイスが与え
られると考えている。さらに、地域や社会から造形体験や空間
演出に関する相談を受けた場合、そこに学生を参画させるこ
とで、相談者や学生それぞれにとってメリットを生む効果も実
感している。



空間演出技術

- あらゆる施設（空間）の演出が可能です。
- 空間を媒体にしたコミュニケーションができます。



造形体験

- 造形ワークショップの開催ができます。
- 造形教育に関する教材開発ができます。

空間デザインの実践



造形作品の制作・展覧会出品



デザイン教育への還元
施設（空間）の演出
造形ワークショップ
造形教育の教材開発

期待される活用シーン

- 現有施設の空間演出をしたい
がわからない
- 施設利用者に造形体験の機
会を提供したい



これまでの実績をもとに、季節の
空間演出を計画したり、造形
ワークショップの運営をお手伝い
できます。



- 造形教育に関する教材開発
をしたい
- 生徒や子供に造形体験の機
会を与えたい



これまでの実績をもとに、造形
教育における教材開発や造形
ワークショップ開催のお手伝い
ができます。



その他の研究テーマ

仮設空間に関する研究
展覧会を通じた交流に関する研究